

キャリアや就転職の総合研究



Job 総研

「番外編」

2021年 「夏ボーナス実態調査」

調査概要

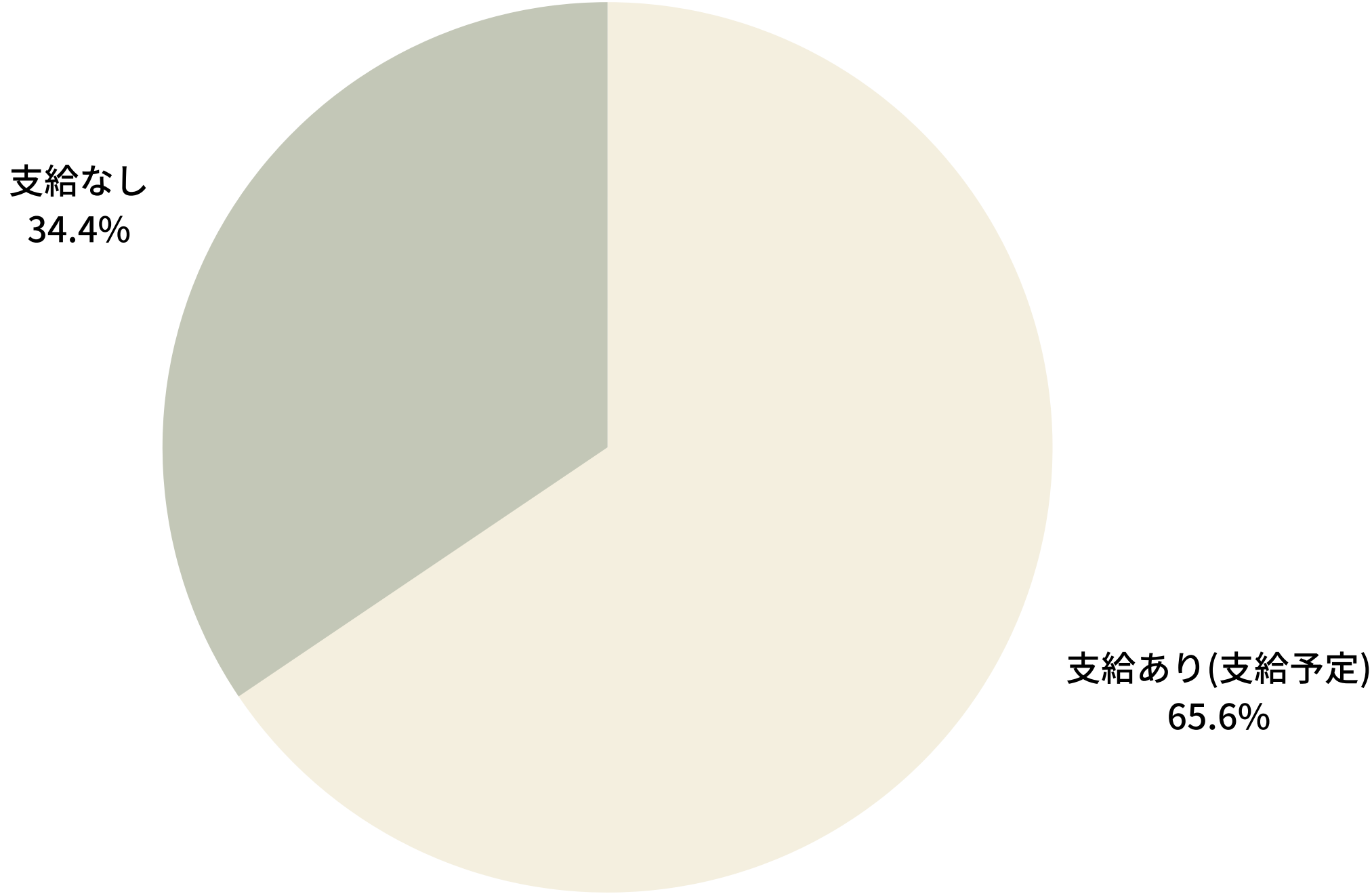
- 調査地域 : 全国
- 調査対象者 : 全国 / 男女 / 20～69歳
- 条件 : 1年以内～10年以上勤務している社会人
20人～1000人以上規模の会社に所属
- サンプル数 : 418
- 調査期間 : 2021年7月9日～7月16日

夏のボーナスに関する調査

TOPICS

- ・ 2021年の夏ボーナスは全体の65.6%が「支給あり」と回答
- ・ 昨年度の夏ボーナス平均支給額と比較して今年度は減少している
- ・ 2021年の夏ボーナスの支給について半数以上がコロナ禍の影響を受けていると回答
- ・ 65.8%がコロナ禍の影響で支給がなくなったと回答
- ・ 今後のコロナ禍による影響を懸念するコメント多数

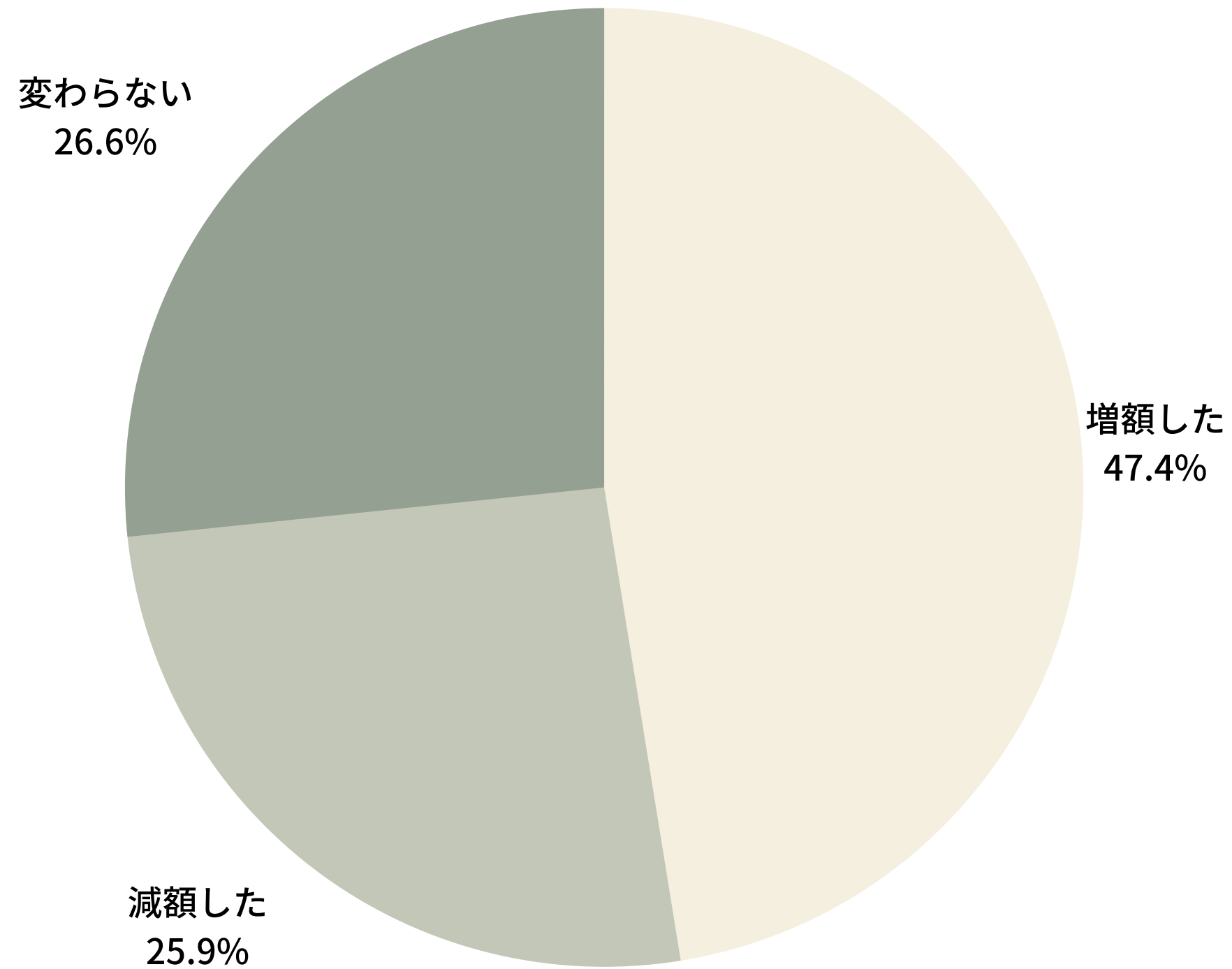
#今年（2021年度）夏ボーナスの支給または支給予定の有無



今年度ボーナスが支給された人は全体の6割強の反面、支給されなかった人が4割弱いました

#支給ありと回答した方

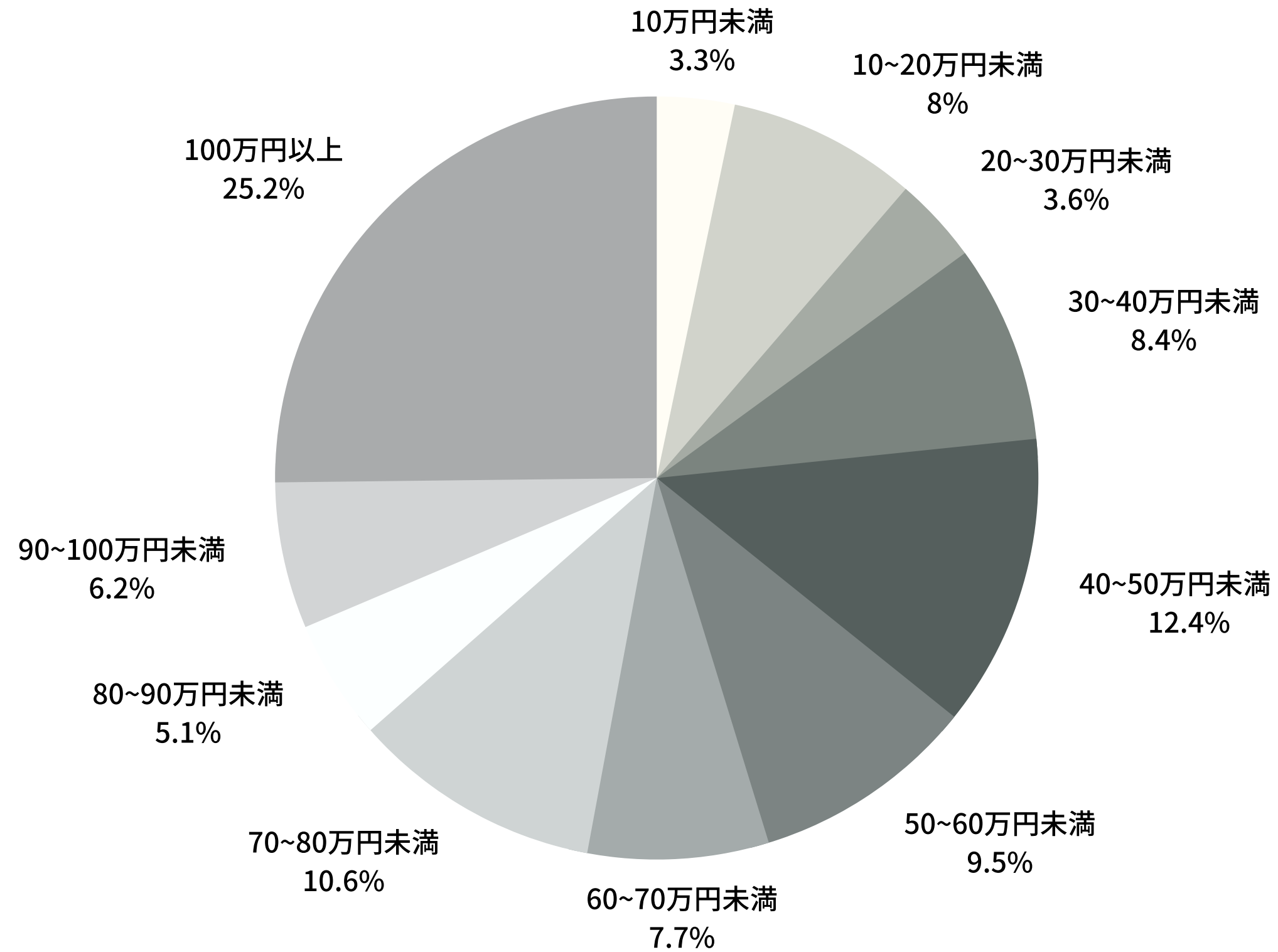
昨年度のボーナスと比較して変化はありましたか



増額した人が全体の5割弱、減額した人は2割強でした

#支給ありと回答した方

2021年度の夏ボーナス支給額



支給額が100万円を超える人が全体の4割でした

#支給ありと回答した方

支給額の平均額 前年比

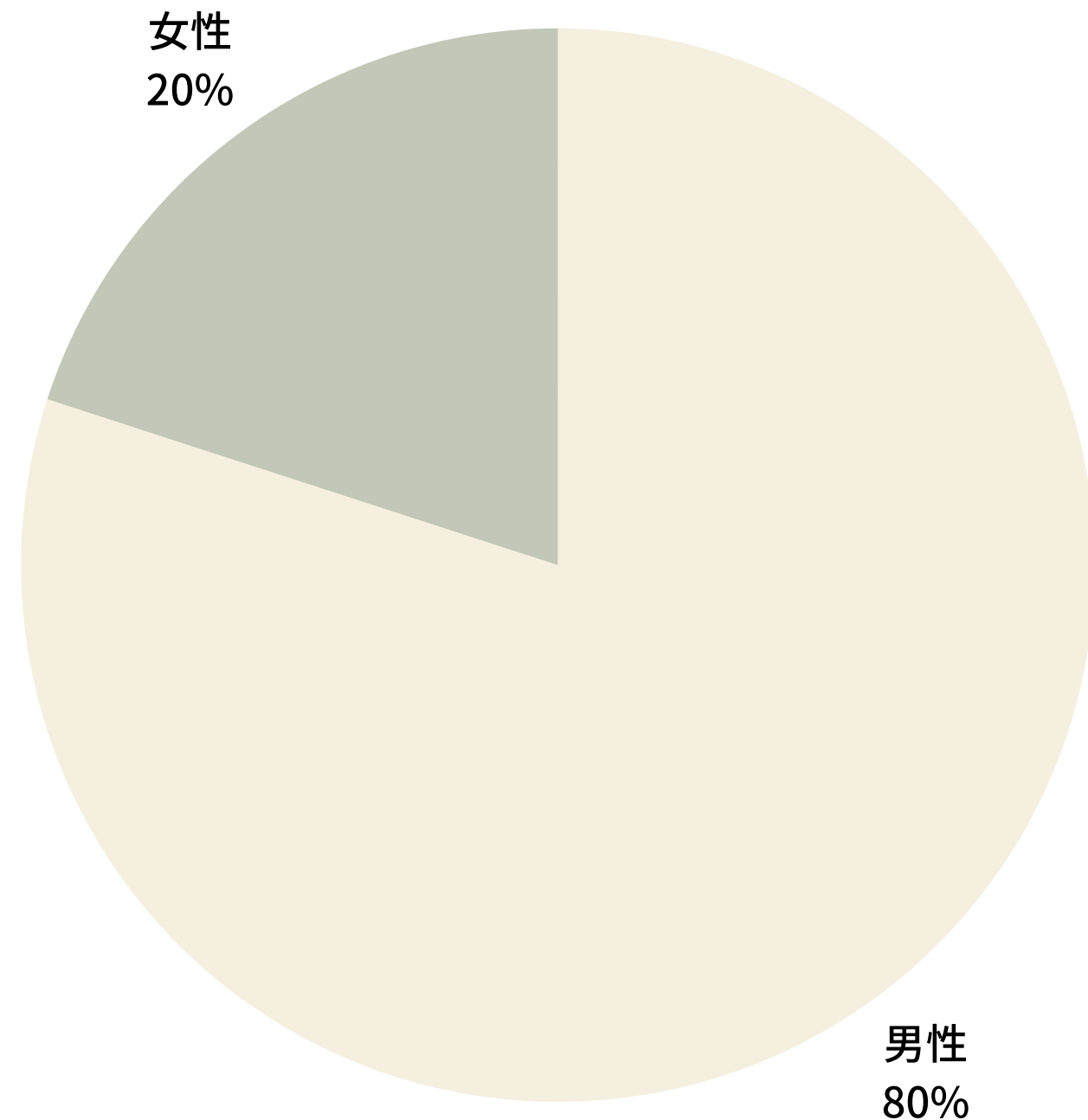
2020年夏ボーナス	2021年夏ボーナス
87.2万円	81.3万円

※具体的な支給金額について記述回答を元に計算

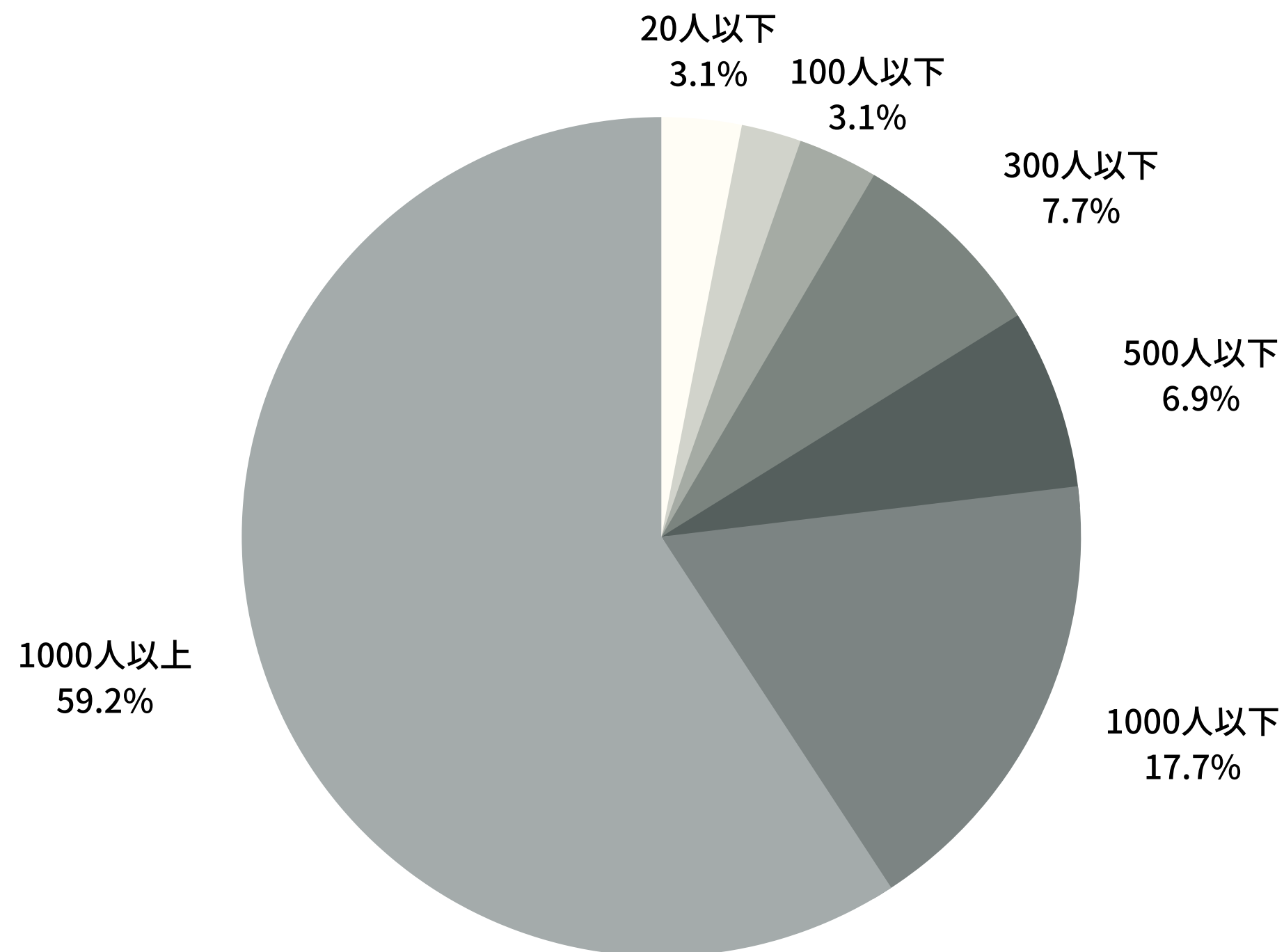
昨夏と今年の夏ボーナス額について具体的金額の回答集計の結果、昨夏87.2万円、今夏81.3万円となり昨夏ボーナス支給額より6万円減少した回答結果となりました。

#増額した方の属性

性別

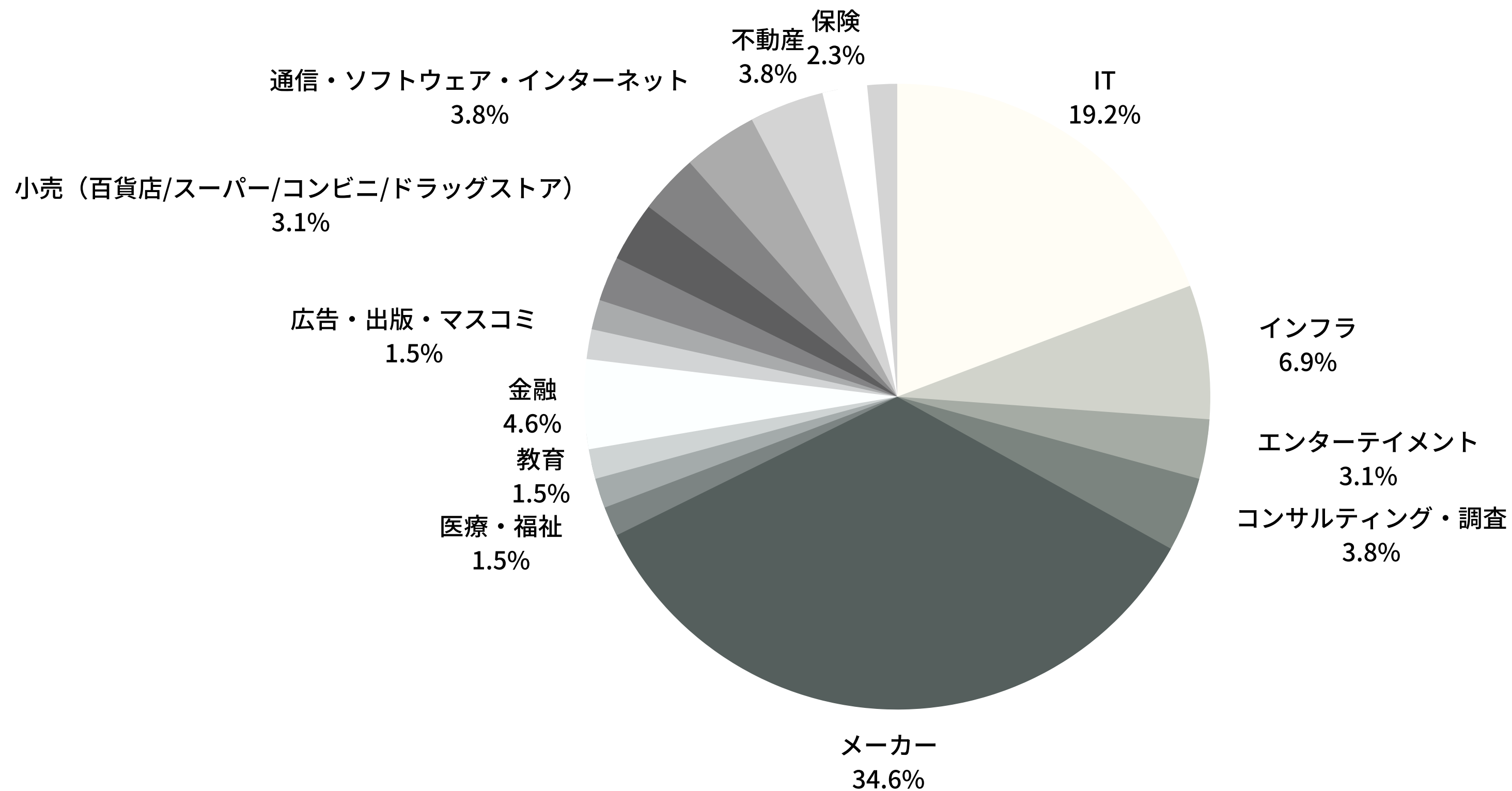


会社規模



増額した人の中で6割が1000人以上規模の会社で働いています

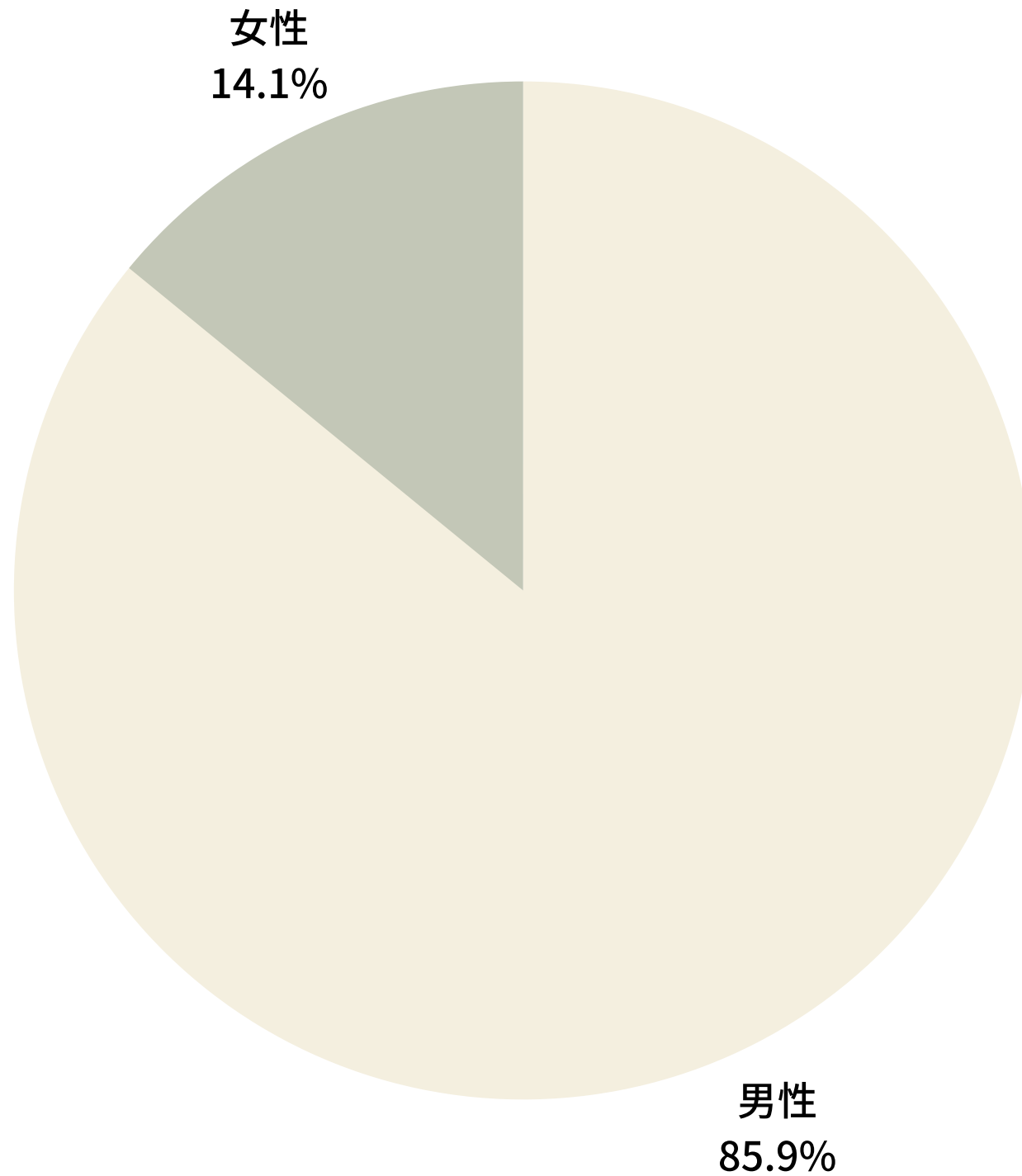
#増額した方の属性



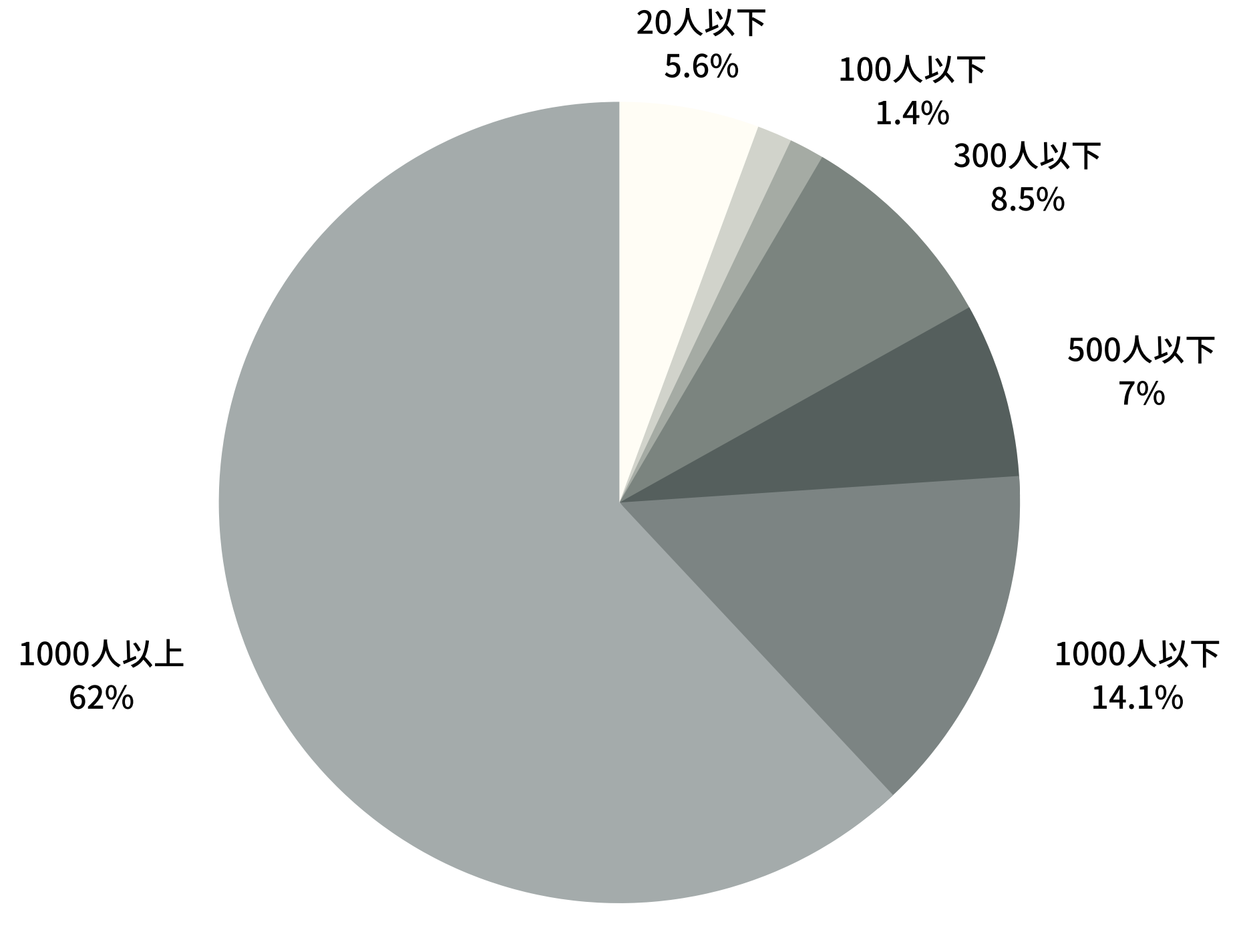
メーカーで働く人が全体の3割を占めました

減額した方の属性

性別



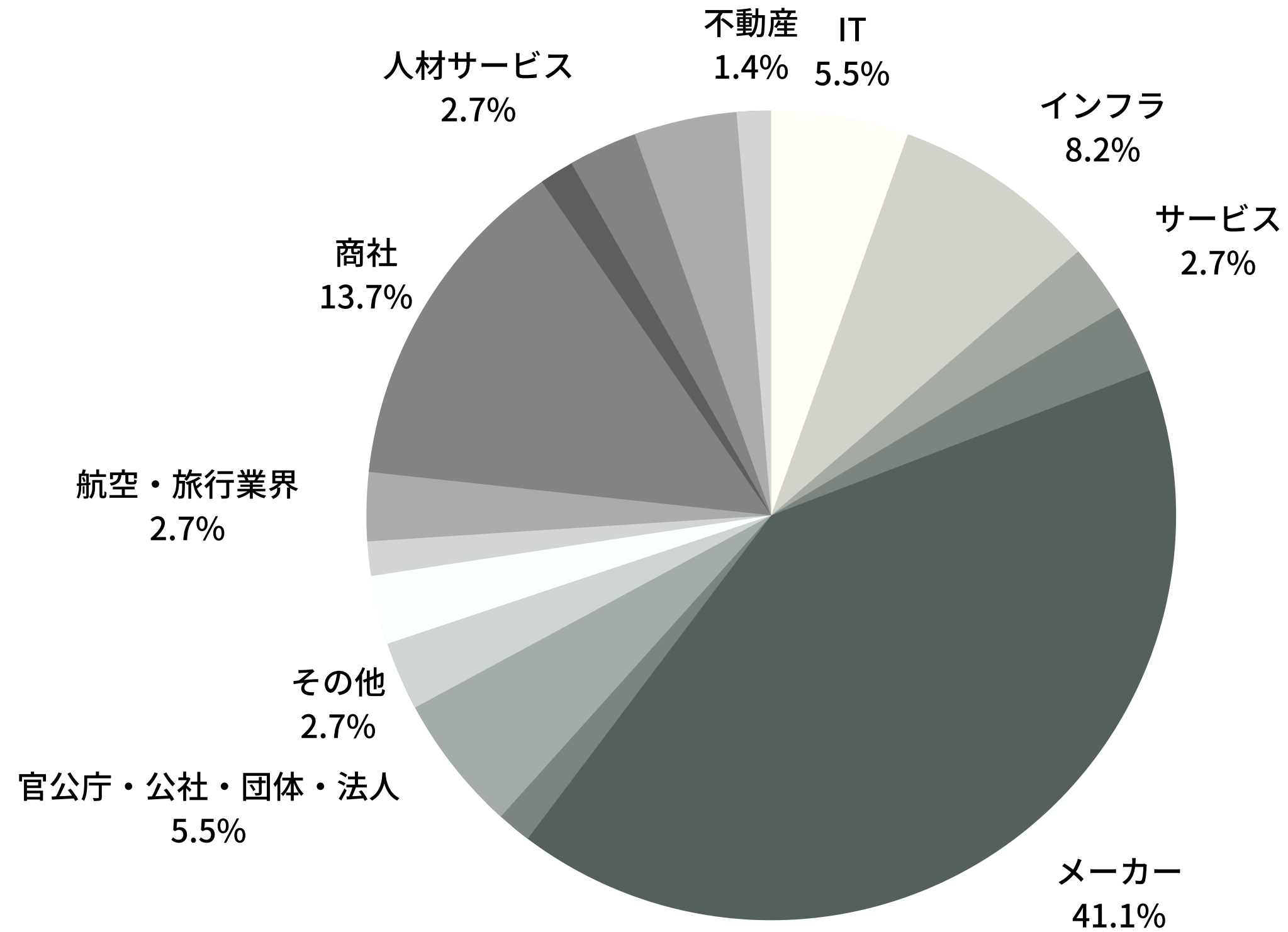
企業規模



減額した人も6割1000人以上規模の会社であることから、業種による差があることが予測されます

#減額した方の属性

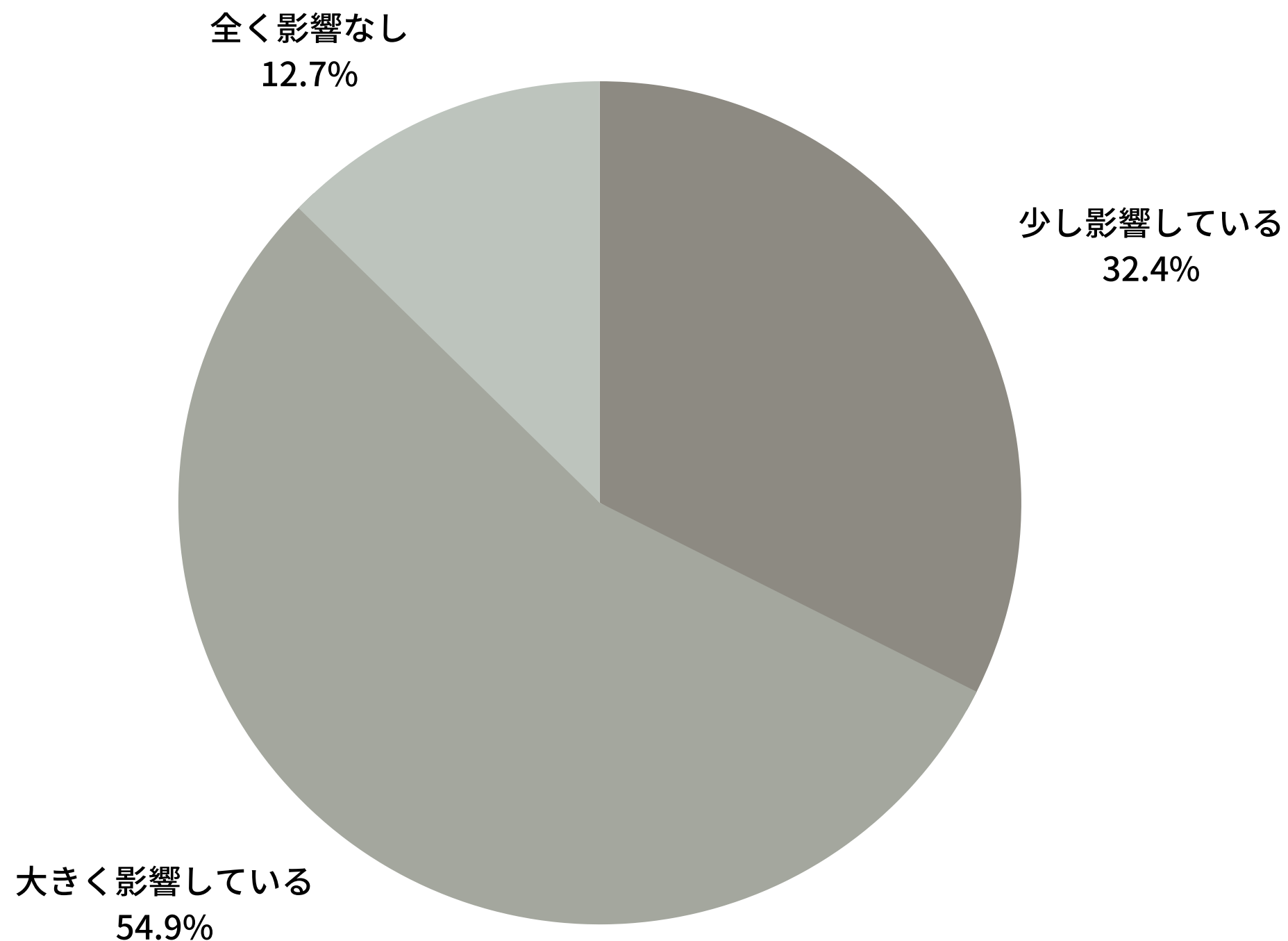
働いている業界



減額した人の中で商社勤めが1割強と、増額した人には見られなかった属性がありました

#減額した方の属性

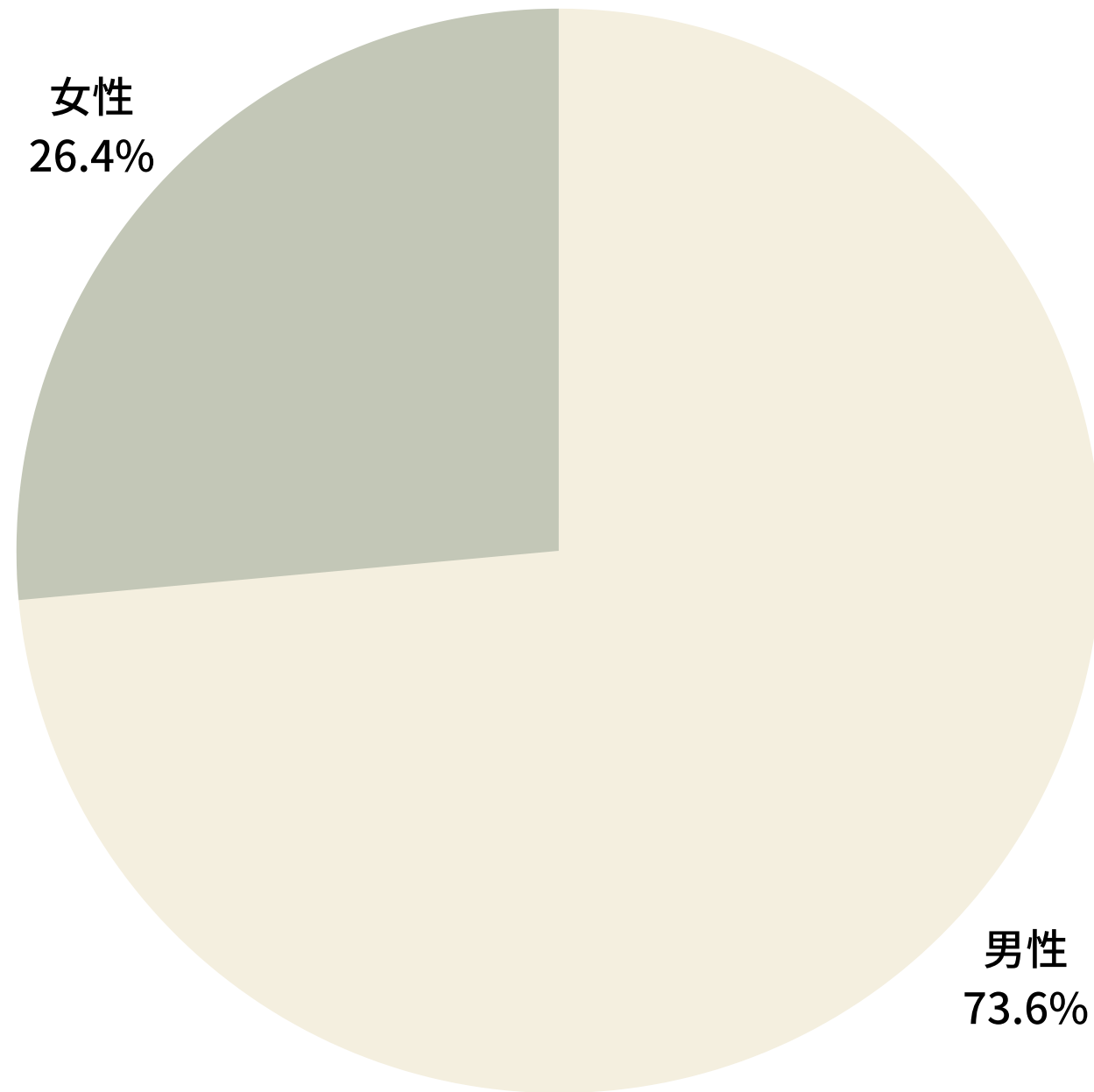
ボーナス支給にコロナがどのくらい影響していますか



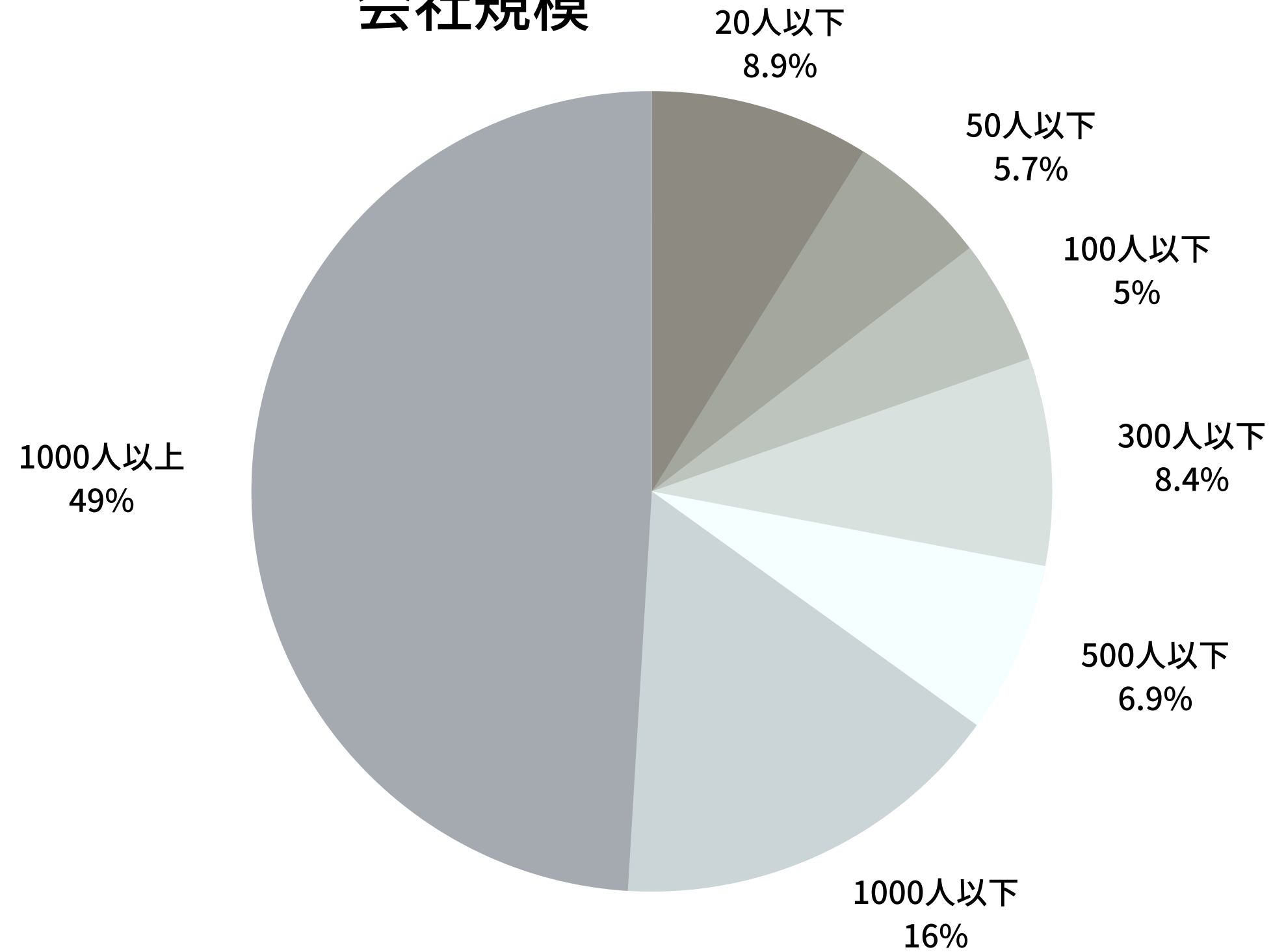
今夏ボーナス支給額が減少したと回答した中でコロナが影響していると回答した人が8割強を占めました

#支給なしと回答した方の属性

性別



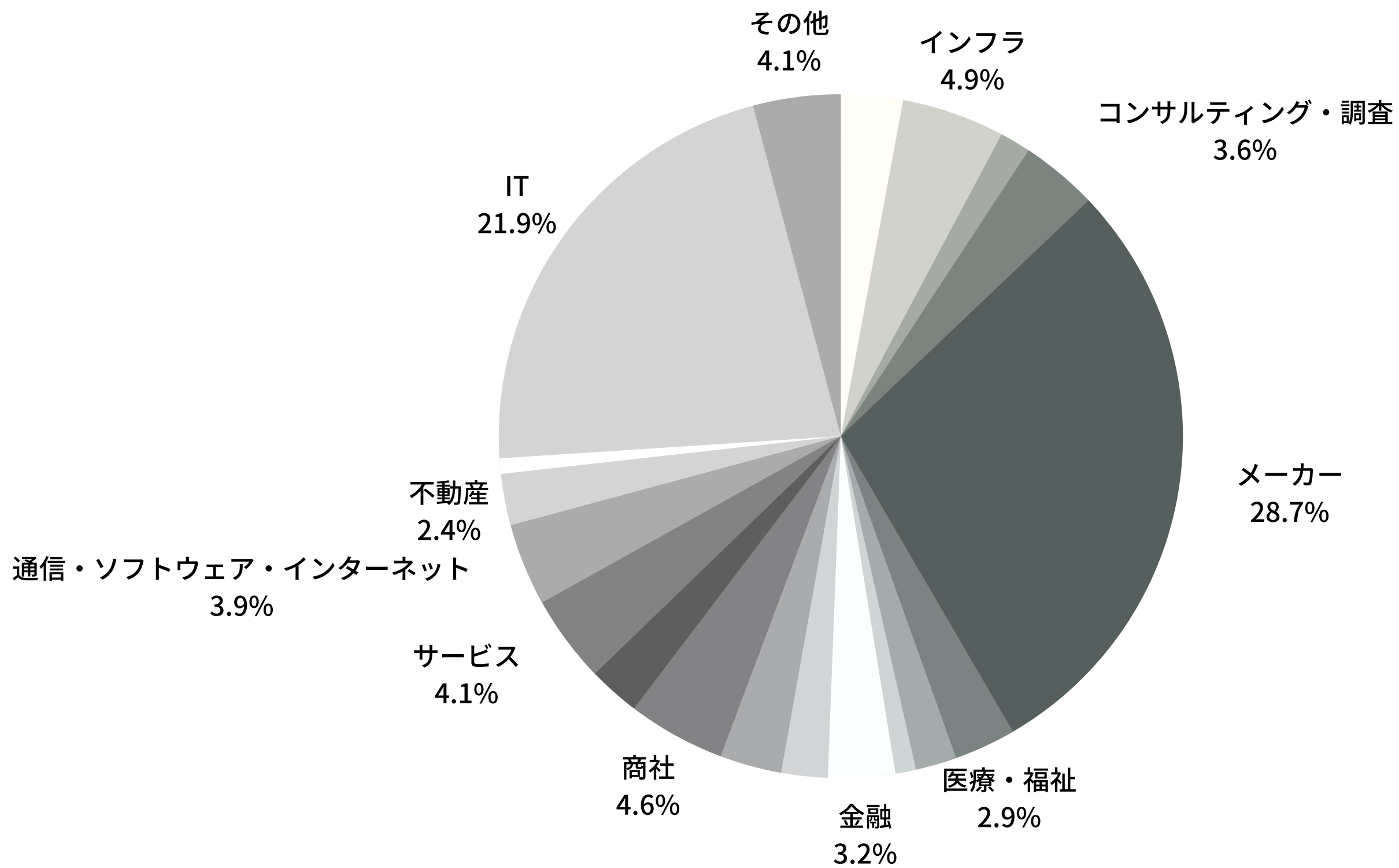
会社規模



支給された人の男女比率より、されなかった人の女性の割合が大きいことが分かりました

#支給なし方の属性

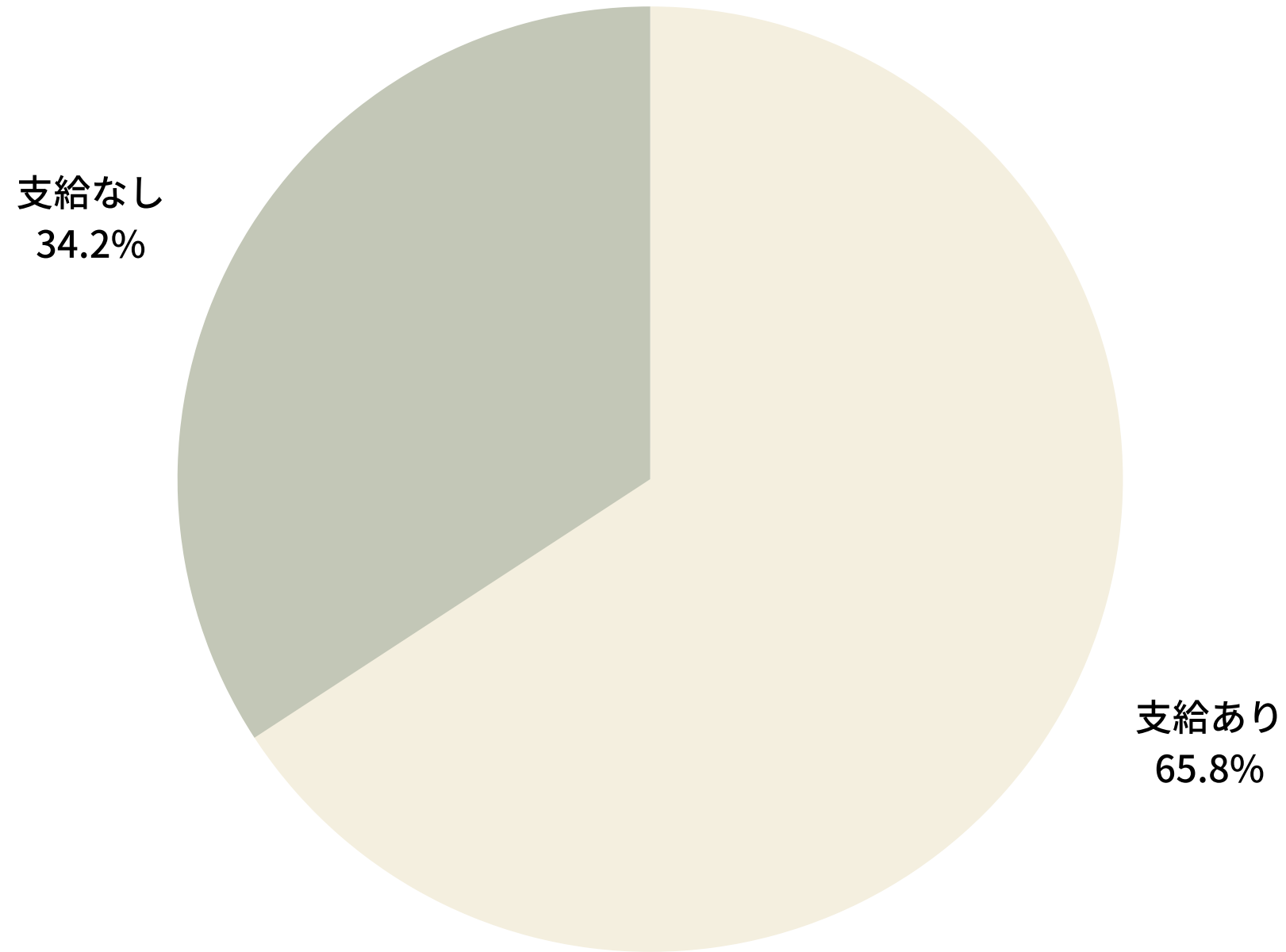
働いている業界



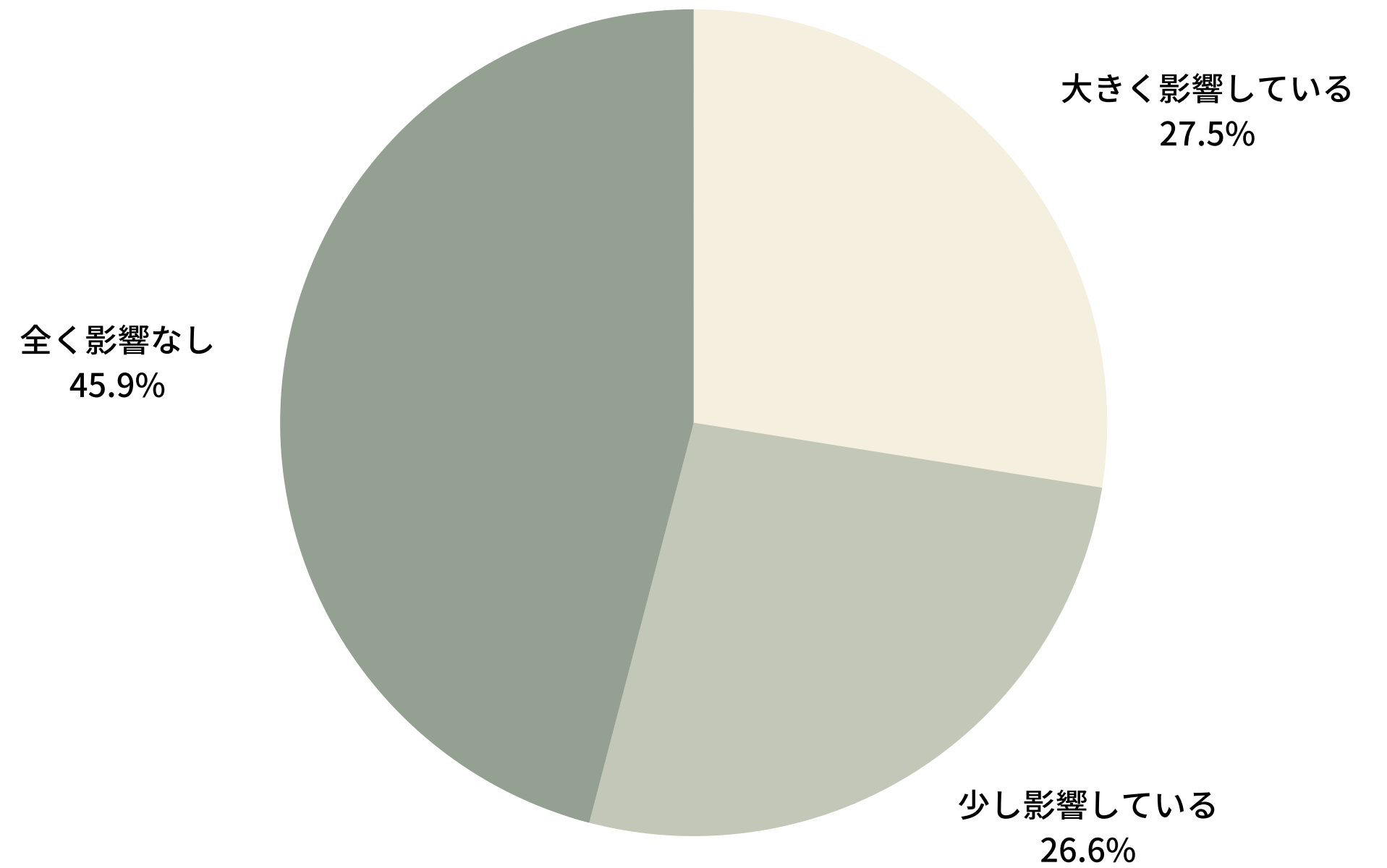
メーカーとITがそれぞれ全体の2割を占めました

#支給なしと回答した方

昨年度のボーナス支給の有無



ボーナス支給にコロナの影響がどのくらいあるか



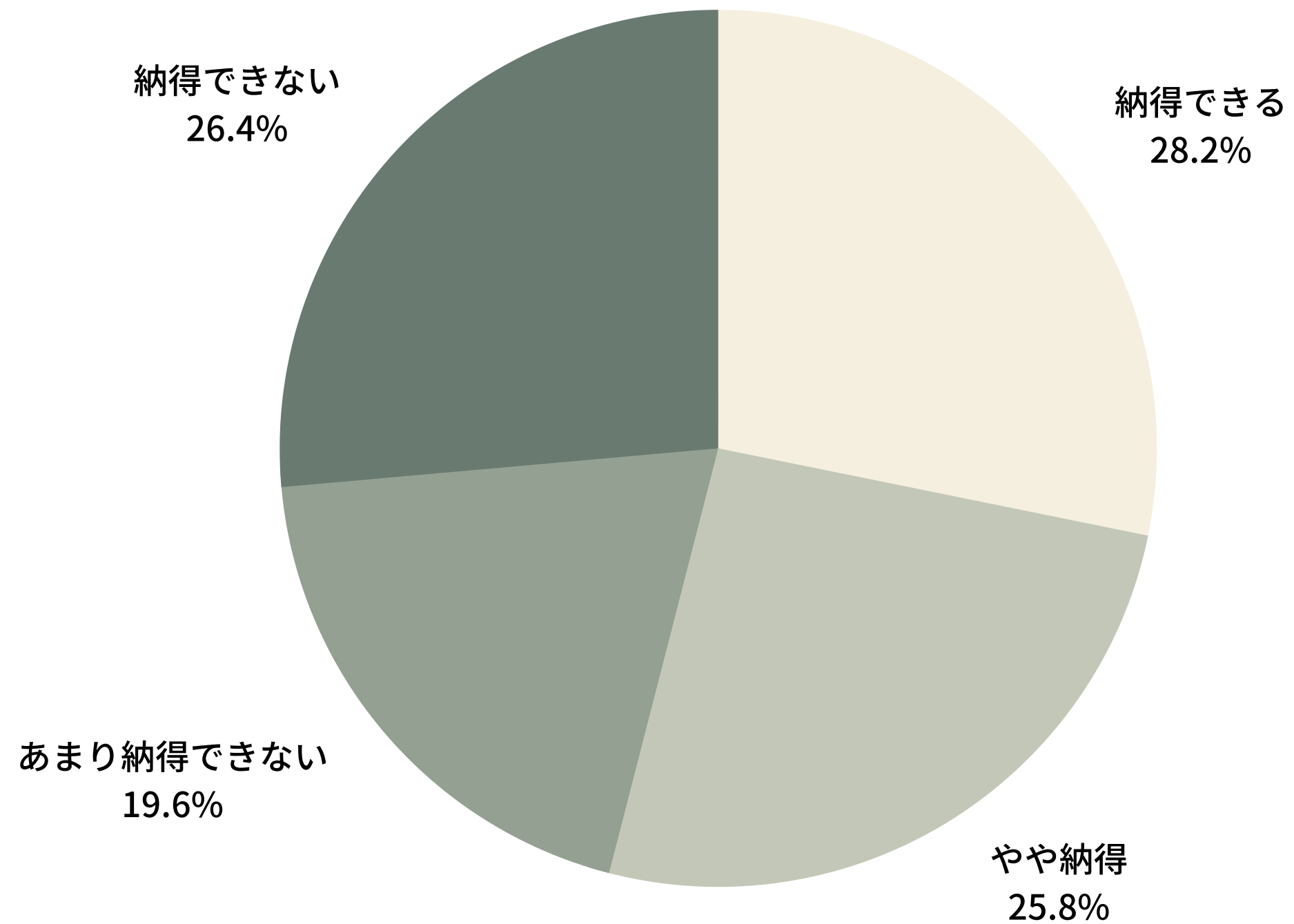
昨年度は支給されていた人が全体の6割強
また、コロナ禍の影響があると回答した人は約6割でした

回答者の記述コメント

コロナ禍に関連するコメント

- ・ 会社の事業自体がコロナ禍の影響を受けて厳しい中でのボーナス支給はありがたかったけどこの先が不安。
- ・ コロナ禍でリストラはあったが、外資系のためその分残ったスタッフに給料、賞与は手厚くなった。
- ・ コロナで影響を受けているので夏ボーナスの支給廃止は仕方がない。
- ・ ボーナス水準は、業績が悪い中でもますます維持されたが、コロナ禍で残業規制が厳しく年収は減少した。

全体的な納得度



納得できない人が4割、納得できる人が6割と比較的状況を受け止めている人が多いことが分かります

調査結果

コロナの影響によって、昨年度はボーナスが支給されていたのに、今年度支給されていなかった人は、支給されなかった人の中で5割強を占めました。また、支給されないことによる納得度は、「納得できる」「やや納得できる」が、6割弱、「あまり納得できない」「納得できない」が4割になることが分かりました。寄せられた意見の中には、ボーナスがないもしくは少額すぎるとの理由で転職する準備をしているという声が複数寄せられました。

また、昨年度と比較して今年度のボーナス額が上がったと回答する人が、支給された人の中で5割弱を占め、働いている業種はメーカーが3割、ITが2割を占め、コロナ禍に影響されないもしくはコロナ禍によって会社の利益が増額した業種があることが分かります。